



駅前と周辺を安全と楽しさでつなぐ『**楽歩、環境**』 をつくりだす

らっぽ

誰もが安全・快適に回遊できる歩行者空間の創出

まちの利用者として迎え入れる誰もが心地良さを感じ、また訪れたくなる美しさ・楽しさ・歩きやすさを備えた『**楽歩、**』と称する安全で快適な環境形成を目指していきます。駅周辺における通過車両や搬出入車両の進入抑制と、歩行者空間の拡充により、細街路等によって自由が丘が醸成してきた回遊の魅力を拡充していきます。

方針① 歩行者を主役としていく〈樂歩地区〉の範囲を定める

自由が丘駅周辺において商業機能が集積する区域を対象として、細街路への車両進入の抑制と歩行者空間の拡充を重点・集中的に進める〈樂歩地区〉を定め、道路基盤整備、細街路での交通規制の強化、建物更新のルール、駐車場地域ルール、自転車の押しチャリルールなどを組み合わせることにより、歩行者を主役とした自由が丘ならではの回遊環境の形成を目指していきます。

車両進入を抑制しながら
好適な歩行者環境を整
える（樂歩地区）

↔ 幹線道路としての機能強化
を図る道路

..... 機能維持と新たな管理運営
で魅力向上を図る細街路等

—— 都市計画道路

□ 現時点で検討が進められて
いる再開発事業区域

○ 歩行者回遊を途切れさせる
踏切

■ 九品仏川緑道

